

## 日本天文学会運営検討委員会について

### 1. 成立の事情

10月3日の臨時総会の後をうけて、10月21日の理事会で、会員の意向を学会の運営に反映させる方法について種々討議した結果、その方法を具体的に検討するための委員会を作った方がよからうということになりました。

まず学会の役員の選出方法が問題ですが、これには定款の改訂を含み、また学会の機構にもふれます。また一方研究者グループとでもいうべきものを作って、研究費問題や将来計画などの科学行政問題にタッチすべきだという意見があり、それをどこにおくかが問題となります。学会の外の方がよいとなれば、ここでの話とは別になりますが、学会が無関係ともいいきれない面もあります。

さて定款改訂を行う場合は現行定款および慣例に従って、発議、理事会、評議員会、総会、文部省（認可）の順になりますが、その前の段階として、ひろく色々の意見を集め、検討するのがこの委員会の任務です。（委員会の構成については月報43年12月号参照）。

### 2. 討議状況

このような経過で委員会が発足し、11月25日、12月15日の2回にわたって討議を重ねました。委員長は支部選出委員から出て、小暮智一氏に決りました。現在のところ意見が纏ったという段階にきているわけではなく、色々な方法の利害得失を考えている段階です。理事会での議論では、たとえば評議員の選出方法をとりあえず考えて、その他の問題については新しい評議員会なり、理事会で検討してもらった方がよいという意見が強かったのですが（あまり多くの事を考えては現理事の在任期間中にすべてを解決することは難かしいだろうという理由で）、委員会ではむしろ色々な問題が関係し合っているから評議員の選出方法だけを切りはなしてやるべきではないという意見が多く、現在その線に沿ってやっています。時間的予定として、昭和44年5月の総会では現行の方法で次期理事長以下を選出し、同時に改訂の大綱を示し、44年10月の（臨時）総会で改訂定款を議決し、その認可をまって、45年5月には新定款を実施出来るよう努力することにしています。

研究者グループについてはまだ極めて漠然としたものですが、考え方に二つの流があります。一つはそれをたとえば研連委の母体となり得るような組織とするもの。他は実際研究活動を行っている色々の研究グループを主体として、全体がそれらの集りと思えるものです。

### 3. 問題点

今迄のところ問題になった点は、1)評議員を公選するかどうか、もしするとその方法、2)理事長を直接公選す

るかどうか、それとも評議員会の推薦によるかどうか、3)通常会員と特別会員という種別があるが、その両方の希望を会の運営にどう反映させて行くか、また役員の選出についてどうするか、4)（仮称）研究者グループの性格、資格をどうするか、5)現行の理事会と評議員会という形でゆくかどうか、などです。

委員会として確認した事項は、1)評議員会などの（中間）議決機関は公選する。2)プロ、教育者、アマの会員を有している学会が全体として統一取れた形であるようにする、ということですが、この双方について具体的な方法はまだかたまっていません。前者については理事会と評議員会という現在の形でゆくか（A案）、それとも理事会を評議員会の中に入れてしまうか（物理学会の委員会方式）（C案）、またはうんと役員をしぼって、執行機関即議決機関にして、各実務のキャップ程度とし、実際に実務を担当する人が必要な時は別に選ぶ（B案）等の方式によって変って来るわけです。具体的には選挙権、被選挙権の範囲、立候補制・推薦制・信任投票制、また選挙区を地方別・機関別・資格（機能）別にするかが問題になります。後者の問題については通常会員からもっと学会がサービスをしてくれないかという要望もあり、例えば観測指導、講演会などをどういう形で誰がやるかなどの問題があります。

### 4. むすび

天文学会はその成立過程から、天文学に対する色々の立場の人を包含しています。国内的には全国的な組織であると共に、国際的には戦後学会が欧文報告を出版するようになって、その成果が広く認識されて来いています。今や会員数も増え、それに伴って日常的な業務も増大しました。天文月報、欧文報告を出版し、春秋に年会を開くというミニマムの業務に関してさえ、理事は多大の努力と犠牲を強いられているのが現状です。それ故これらの実務がスムーズに行われることが一番大切ではないかという議論も成立します。しかし他方、評議員が次の評議員を選び、理事を指名する（実際は理事が原案を作り、評議員会がチェックしていますが）という現行の方法は役員がクロースト・サーキットとなって会員との間にコミュニケーションが欠ける結果を齎らすという批判も起ります。いずれにしても会の運営がむづかしい時期にきていることは事実です。

いずれアンケートを取って意見を集めようという話がありますので、その時のみならず、それ以前の段階でも御意見をお寄せ下されば好都合と思われます。

（庶務理事 青木信仰）